

当院で手術後に抗がん剤治療を受けた胃がんの方へ

第 1.1 版

内閣府戦略的イノベーション創出プログラム「AI ホスピタルによる高度診断・治療システム」の一環として、当院では全国 5000 を超える施設が参加する医療情報データベース National Clinical Database(以下 NCD)を通じて収集される胃がん術後化学療法に関するデータベース構築に協力しています。

【研究課題】

「全国胃癌登録を利用した術後化学療法の最適化に関する研究」

【研究機関名及び当センターの研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 国立研究開発法人国立国際医療研究センターがん総合診療センター
研究責任者 山田康秀 センター長
担当業務 データ収集・解析

【既存データの提供機関】

全国の NCD 参加施設 <http://www.ncd.or.jp/list/>
担当業務 データ収集・解析

【研究期間】

承認日～2025年3月31日

【対象となる方】

2012年4月1日～2018年12月31日の間に、胃がんに対する術後化学療法を受けた方。

【研究の目的】

本研究では、日本における胃がん術後化学療法の実際の使用状況のデータを解析します。大規模データの解析による、最適な治療法の評価を目的とします。

【研究の方法】

この研究は、国立国際医療研究センター倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

NCD 参加施設において 2012 年 1 月 1 日以降、当院で胃がんに対する術後化学療法を受けた場合、臨床情報を収集します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの個人情報を含まない診療情報は、NCD上に構築された本研究用のデータベースに保管されます。各参加施設では被験者個人を識別するための匿名化対応表が作成、保管されています。当院では外科、山田和彦消化器外科診療部門長が管理しています。

この研究のためにご自分あるいはご家族のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2025年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式にして学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、内閣府戦略的イノベーション創出プログラム「AIホスピタルによる高度診断・治療システム」から支出されています。利益相反の状況についてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しており、利益相反に該当する事実はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2021年7月12日

【問い合わせ先】

国立国際医療研究センターがん総合診療センター

山田康秀

住所：東京都新宿区戸山1-2-1-1

Eメールでのお問い合わせ：yayamada@hosp.ncgm.go.jp